

第12回 工学部・第8回 大学院工学研究科 入学式



第12回工学部・第8回大学院工学研究科入学式が4月5日(水) 本学講堂において挙行され、学部234名(3年次編入生含む)、大学院工学研究科20名(博士後期課程2名、博士前期(修士)課程18名)が入学しました。

午後からは、父母を対象に学長父母懇談会並びに学科別ガイダンスが行われました。一方、新入生たちは柏崎市民プラザに移動し、柏崎市、商工会議所、市内企業や有志〔実行委員会会長:(株)ブルボン・代表取締役社長 吉田康氏、同実行委員長:(株)創風システム・代表取締役 石塚修氏〕による新潟産業大学と合同の新入生歓迎会に出席しました。

歓迎会終了後には、コレクションビレッジまたは柏崎刈羽原子力発電所を訪れるミニツアーが行われました。

このような盛大な会を催していただきました関係各位、並びに新入生を温かく迎え入れていただきました多くの市民の皆様方に、厚くお礼申し上げます。

〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20060405_01.html〕



CONTENTS

- 1 第12回工学部・第8回大学院工学研究科入学式
- 2 卒業式&修了式を挙行-278名が新たな門出へ-
卒業・修了祝賀会
合同会社説明会を開催
- 3 平成17年度卒業生就職内定率98.3%
卒業生の職場を訪ねて⑨
- 4 緊張と誇りに満ちた喜びと
新潟工科大学・学生による「柏崎に関する研究」発表会

- 5 建築サークル「SINME」誕生!!!
- 6 ロボカップジャパンオープンで計測自動制御学会賞を受賞
新潟産業大賞2005で奨励賞受賞
哈爾濱理工大学と学術交流に関する協定に調印
- 7 丹野常務理事が瑞宝中綬章を受章
佐伯教授と寺島助教授が日本機械学会より表彰
竹園助教授と小野寺助教授の共著論文が1位にランク
退職教員のお知らせ

- 7 平成18年度公開講座の日程決定
- 8 新潟工科大学・工科大祭実行委員会
からのお知らせ
第11回 工科大祭のご案内
オープンキャンパスのご案内
AO入試と特待生選抜を実施します
編集後記

卒業式&修了式を挙行 -278名が新たな門出へ-

第8回工学部卒業式・第6回大学院工学研究科修了式が3月21日(火)、本学講堂において挙行され、学部265名、大学院13名の計278名が晴れの日を迎えました。

式では、布村成具学長から各学科・専攻の代表者に卒業・修了証書が授与され、「皆さんは、卒業後、安逸な人生を期待することは出来ません。社会を支えるために常に前進しなければなりません。曖昧でも良い、生涯の目的ではなく十年先の目的でも良い、まず自分の目的をもってください」と、はなむけの言葉が贈られました。

続いて、卒業生を代表して建築学科の武田楓さんが「新潟工科大学で培った知識や技術、そして弛まぬ努力を忘れることなく、自分たちの可能性を信じて邁進していきます」と、今後の飛躍を誓いました。また、修了生の代表として自然・社会環境システム工学専攻の村田亨さんは「本学で得た貴重な体験と教訓を胸に、工学を学んだ者として、驕ることなく常に学ぶ謙虚な姿勢を忘れず、社会へと挑み、貢献していきたい」と抱負を述べました。



〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2005/20060321_01.html〕

卒業・修了祝賀会

厳粛な中で行われた卒業式・修了式の終了後、柏崎市民プラザを会場にして卒業・修了祝賀会が催されました。卒業式・修了式とは違って変わり、終始笑いの絶えない和やかな会となりました。

布村学長の挨拶、ご来賓の祝辞に続き、卒業生代表の野口敦史さん(機械制御システム工学科)、修了生代表・星野優さん(高度生産システム工学専攻)からそれぞれ感謝の言葉が述べられました。

お世話になった先生やご父母、苦楽をともにした仲間たちとの歓談が続いた後は、毎年恒例となっている学科や研究室ごとの記念撮影が繰り広げられ、盛会のうちに終了となりました。

卒業生・修了生の今後の活躍に期待しています。



〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2005/20060321_01.html〕

合同会社説明会を開催

平成19年3月卒業・修了見込の学生を対象とした合同会社説明会が2月15日(水)、16日(木)の2日間に渡って、本学講堂を会場に開催されました。

参加企業数は、15日101社、16日52社の計153社と、過去最高となった一昨年を約50社も上回り、本学への期待の高さが伺えました。

学生は各企業のブースを回り、人事担当者から会社や業務内容の説明を受けていました。



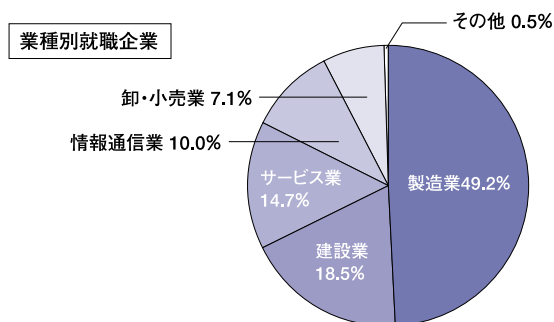
〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2005/20060216_01.html〕

平成17年度卒業生就職内定率98.3%

昨年度の本学就職希望者は、卒業生の87.9%と全国平均である71.4%（文部科学省調査平成18年2月1日現在）に比べ非常に高く、内定率は98.3%と第一期生から毎年9割を超え順調に推移しています。

今年度の状況ですが、求人数は増加傾向で、前年度同時期と比べて1.5倍もの求人が寄せられています。これは中部・東海・近畿地方からの求人が増加したことや、新潟県内企業の求人早期化が影響しています。しかし、採用選考については、厳選採用の傾向が継続されており、企業の求める適性や能力を満たしていない学生は残念ながら不採用となっています。このため、本学では、明確に卒業後のビジョンを描けるよう、低学年からキャリアについて考える機会をつくっています。また、就職活動前には自己PR及びコミュニケーション能力

の開発など、より効果的・実践的な講座やガイダンスを開催し、学生が希望の職種につけるようバックアップしています。



卒業生の職場を訪ねて⑨

一級建築士事務所

DESIGN 空 (SO-RA)

地濃芳和さん

建築学科 2002年3月卒業
自然・社会環境システム工学専攻
2004年3月修了



今回は、一級建築士事務所「DESIGN 空(SO-RA)」に勤務されている地濃芳和さんを訪ねました。地濃さんは、新潟工科専門学校から本学建築学科に3年次編入学し、その後も本学大学院に進まれました。在学中のコンペ応募作品には入賞したのも数多いというキレ者です！今でも、建築学科主催のコンペ会場にはマメに足を運んでいたと、後輩たちにゲキを飛ばしていたみたいです！

・・・ お忙しいところお時間をいただきありがとうございます。最近手がけた物件の中で、何か面白いものがあれば、少しご紹介いただけますか？

地濃： 少し前ですが割烹をやりました。住宅などは通常、引き渡した後は中を見ることはできませんが、料理店ならばいつでも入れるので友達と行ったりしています。内部の空間や出てくる料理も好評なのですが、なにせ会席料理なので資金にゆとりがないと、そう易々と行けないところが難点です(笑)。他にも住宅、診療所等いろいろな物件をやっていますよ。

・・・ 建物デザインから施工管理まで、多種多様なお仕事をされているようで大変ですね。仕事をする上で心がけていることなどは？

地濃： 当たり前のことかもしれませんが、少しずつでも成長していこうと——ですが、やることも多く、なんとかこなすのが精一杯の状態ではなかなか大変なんです。仕事は徐々に慣れてくるものですが、できることが増えればやることも増えるわけで、今後もこういう状態が続いていくわけです。まあ、少しずつ、少しずつ思いながらやっています。

・・・ もしよろしければ、少し隠れた失敗談とか(笑)

地濃： ここで公表するわけにはいきません(笑)。設計の変更があった場合、随時修正しながら進めていくのですが、図面も何十枚とあるわけですから、どうしても食い違いがあったりします。[平面と立面が...]という具合に。大抵は見積もり段階で施工業者の方から指摘があるのですが、誰も気付かないで施工しているときに発覚...なんてことにならないように気を付けています。ちなみに今の所、シャレにならないミスはないですよ、ホントに。

・・・ じゃあ、大変だったこととか、苦労していることとか？

地濃： 締め切り前はいつも大変です。いつも余裕を持ってやろうと思っているのですが、なぜか締め切り前に仕事が増えるんです。それも必ず。で、残業。ここで納得のいかないことが一つ、終わらないから残業してるのにさらに仕事が増えるんです。「あ、コレもね」って。「またかよ」と心の中で(笑)ささやかな抗議をしつつ、なんとか乗り切っています。

・・・ 仕事をやってよかったなあ、と思う瞬間ってありますか？

地濃： 建物が完成して引き渡しの時、お客さんが喜んでくれる瞬間ですね。これしかないです。この仕事に関わることができて良かったなど。それまでの苦労が報われるというか、これから頑張ろうとか、すべてこの瞬間のために、という感じですね。これはみんなで作ったものとして、設計・施工問わず関わった人はそう思うんじゃないでしょうか。

・・・ 大学or大学院での経験で役立っていることは？

地濃： 「これが役に立った」と明確には言えませんが、私の場合は講義そのものよりも研究に関連したことが多いですね。まあ、将来を見越してのテーマだったんで当たり前ですけど(笑)。研究は基本的に指導教員の先生のもとで進めることになりますが、せっかく各分野の専門の先生方がおられるわけですから使わない手はないな、と。そうすることで知識も得られましたし、また、自身への刺激にもなりました。

・・・ 最後に、在学生や建築を目指す高校生たちに何かメッセージをいただけますか。

地濃： よく聞く話は、学生の時に遊んでばかりで勉強しなかった人が、働いてから「なんでもっと勉強しとかなかったんだろう」となってしまうものですが、学生の時に設計ばかりしていた私の場合「なんでもっと遊んでおかなかったんだろう」というふうになります。ですので、勉強も遊びもやれるだけやっつけ！ということです。学生の時間を精一杯楽しんでください！

・・・ 今日はお忙しい中、大変ありがとうございました。

(聞き手：建築学科 教授 飯野秋成)

緊張と誇りに満ちた喜びと

新潟工科大学・学生による「柏崎に関する研究」発表会



標記発表会が3月1日(水)に柏崎商工会議所大研修室で開催された。この発表会は、柏崎商工会議所・総合建設部会および社団法人新潟県建設業協会柏崎支部が主催したもので、今回が4回目である。

この催しは、新潟工科大学の修士論文および卒業研究論文のうち、柏崎市と周辺地域

に関係が深いテーマのものを、研究した学生自らが発表するものである。聴講者は、主催団体の関係者、行政関係者および地域住民で、それぞれの職域でのベテランであった。

発表内容は、環境に配慮した資源再利用をテーマとしたもの(大津匡史君、星野隼人君)、商店街の再計画や学校施設の設計提案(横山雄貴君、青池真奈美さん)、地域の防災を論じたもの(高橋理恵さん)、乾燥木材の流通(本田昇君)やコンクリートおよびセメントの劣化に関するもの(小黒了君、武田楓さん)と多岐にわたった。それぞれの発表は、卒業研究や修士論文の終了後に新たに手を入れたことが明らかで、機会を与えられたことに対する熱意が感じられた。

聴講者は、新たな知見と刺激を得て自らの仕事に役立てようとする姿勢と、若い人のものにとらわれない発想を楽しむ、という両面から熱心に耳を傾けていた。このことは聴講者の質問にも表れていて、温かくもあり鋭くもありの質疑応答となった。

発表者にとって、全てが初めての経験であった。控え室と名づけられた部屋に誘導されたのも初めてなら、手厚いお弁当のもてなしも初めてであった。100名を超える社会人が居並ぶ中、商工会議所副会頭の挨拶から始まる格式のある雰囲気であった。

新潟日報、柏崎日報の取材、地域放送のFMピッカラよりそれぞれ全員がインタビューを受ける、等々初めてずくめの経験であった。

発表者に感想を求めたところ、「事前に十分準備したことが落ち着きにつながった」、「成果が発表できることがこんなに楽しいものだということが分かった」、「一人前として扱われたことに喜びを感じた」等の感動の言葉が、満ち足りた表情とともに返ってきた。

(建築学科 教授 穂積秀雄)



[関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2005/20060302_01.html]

建築サークル「SINME」誕生!!!

刺激的な建築作品を、そして建築を志す学生たちの大きな輪を、
私たちと一緒に作っていきませんか!



建築サークル「SINME」代表

建築学科3年

岩淵 康弘

(新潟県立長岡商業高校出身)

建築学科3年で、『SINME』代表の岩淵です。昨年の春、新たに創られたクラブ『SINME』について紹介します。

まず、SINMEというのは何かというと、新潟工科大学の建築学科をどんどん有名にしていくなめにつくられた団体のことです。メンバーは総勢12人ほどで、男子が10人、女子が2人で、3年

生を中心に構成されています。そしてこのメンバーに、今年の1年生がたくさん加わってくれる予定です。SINMEは建築学科から集まった集団なので、活動内容は建築に関わることなんなんでもです。結成されてからまだ1年ほどで、仕事をもらって本格的に活動し始めたのはつい数ヶ月前のことなのでまだ仕事量は少ないですが、これまで僕たちがやってきた主な活動を紹介しします。

今年2月から3月下旬にかけて、『柏刈住宅作品展』、『JIA県内大学卒業設計展』の2つのイベントが柏崎のソフィアセンターにて開催されました。そのイベントで、僕たちは企画、運営、準備などの仕事を任されました。会場設営、備品準備、広報活動、

公開審査の打ち合わせなど、メンバーで手分けをして頑張ってきました。慣れない作業でトラブルも多かったのですが、そこはさすが建築学科の先生方、何度も助けていただきました。この仕事を請けてよかったことは、実際に建築業界で働いている建築士の方々と知り合えたこと、有名な建築家を新潟工科大学にお呼びすることができたこと、運営する側からの視点でイベントの全貌を見ることができたことなどです。初めての作業ばかりでしたが、その分多くのことが勉強できました。

また、今年4月には、建築学科の新入生歓迎会をSINME主



催で開催しました。歓迎会自体は成功に終わったのですが、計画の過程で、大きなミスをしてしまいました。

建築学科では毎年、新入生歓迎会を開いています。例年は新4年生が計画しているのですが、今年はSINMEに任せてみないかという話が出たので、僕たちはそれを承諾しました。入学してから早めに歓迎会を開いた方が良くだろうと踏んで、急いで計画を進めていきました。歓迎会の内容、会場、賞品の選定など、計画は順調だったのですが・・・4年生との打ち合わせをしなかったために、別途新歓の計画を進めていた4年生に大きな迷惑をかけてしまう結果となりました。しかし、さすが先輩です。当日は何一つ文句も言わず、私たちの歓迎会を盛り上げることに徹してくださいました。(井上先輩!本当にありがとうございました。)

以上、今までの僕たちの活動を報告しました。学科の先生方とごつくばらんなコミュニケーションをしながら、学科の活動の中でSINMEが協力できる場所は楽しんでやろう、というスタンスですが、その他にもSINMEみんなで研修旅行に行ったり、自分たちの作品を設計競技に出品したりなど、一人ひとりのスキルアップに繋がるようなことも大いに楽しんでやっています。

どうい活動をするにせよ、外部と何らかの関わりをもつことで、新潟工科大学の建築学科も有名になっていくようになると思います。イベントの運営活動に参加すれば、建設業界で働いている方々や他大学の建築学科の学生たちともふれあえるし、自分の作品を設計競技(コンペ)に応募して入選すれば、雑誌などに記載されて私たちの名が世に知れ渡ります。そうしてすぐれた作品が集まれば、新潟工科大学初の「学生建築作品集」

を作れるかもしれません。そんなことも視野に入れながら活動をしていきたいと思っています。

そして、SINMEに所属していると、普通のキャンパスライフでは味わえないことがたくさんあります。まず先輩と後輩のつながりができることです。後輩は先輩から教えてもらい、またその逆もあり、様々な情報交換ができるし、同年代だけではわからない新たな発見ができます。

何かを実行に移そうとすると、メンバーによる会議が開催されるわけですが、最初は僕たちも会議の進め方をまったく知らず、意見を出し合うだけでみんな機嫌を悪くして終わっていく日が何回もありました。しかし飯野先生をはじめ学科の先生方から「会議の方法」というものがあることを教わりました。今では会議のスタンスを守り友好的に進めています。みなさんもグループで話し合いを進める機会がたくさんあると思いますが、会議のノウハウを知っているととても便利です。その他にもSINMEがやっていることは、社会に出てからも役立つことがたくさんあります。

最後に、SINMEの勧誘の意味も込めて少しだけお話しします。これから建築学を学ぶ上で、夢ばかりを見ていられなくなるような現実的な側面も見えてきますが、建築学はとても魅力的で奥が深いものです。現実的な問題を十分に踏まえた上で、夢があって楽しい建築を創造することが今とても必要なのです。世間を騒がせている元一級建築士などもいて、彼らが世間に対し建築業界への不信感をあおったために、建築をつまらないものにしています。しかし、それとは別に、人に感動を与えたり、誇りをもたせたり、快適さが味わえる建築物をつくっている人もたくさんいます。僕らも人に感動してもらえるものを作りたいですね。僕としては、自分の様々な気持ちが形となって具現化することによって建築の面白さを感じます。全国各地、または世界中の建築を見てみると、「この建物はどういう意図で作られたのか」がわかってきます。SINMEでは、自分の建築に対しての気持ちや、あの建築、この建築について思いっきり語り合う機会も設けています。建築に対して思っていることをぶつけてみたい人、是非僕に声をかけてください!お待ちしております!



ロボカップジャパンオープンで計測自動制御学会賞を受賞

GW中に行われたロボカップジャパンオープン2006北九州において、機械制御システム工学科・大金研究室&ロボット研究部の連合チームが「計測自動制御学会賞」を受賞しました。

同大会はロボカップ日本委員会などの主催により、5月4日(木)～6日(土)の3日間、北九州市の西日本総合展示場で行われ、ロボットによるサッカーやレスキューの技を競い合いました。

レスキューロボットリーグに出場した本学チーム「NIIT-BLUE」は、新たなコンセプトの“蛇型ロボット”を開発して大会に臨みました。予選ではまさかの無線トラブルにより残念ながら決勝に進むことはできませんでしたが、このロボットが他の研究者たちから高い評価を受け、今回の受賞となりました。

NIIT-BLUEは、6月14日(水)から21日(水)にかけてドイツのブレーメンで行われる世界大会にも出場する予定です。今後の活躍を期待しています。



関連URL

機械制御システム工学科 <http://www.niit.ac.jp/mcehtml/>
 北九州大会公式サイト <http://www.robocup.or.jp/2006JP/index.htm>
 レスキューロボットリーグ結果 <http://www.robocup.or.jp/2006JP/results/rr.htm>
 世界大会公式サイト <http://www.robocup2006.org/start?lang=en>

新潟産業大賞2005で奨励賞受賞

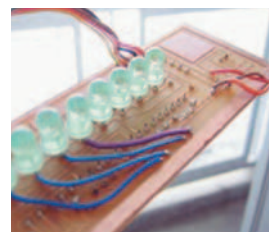


ロボットAIプログラミング同好会代表
 情報電子工学科4年
渡邊 陽太郎 (写真中央)
 (新潟県立柏崎高校出身)

ロボットAIプログラミング同好会(略してRAP)は、ロボットや電子機械の製作、またそのためのプログラミングの学習を目的として2年前に作られた同好会です。現在はソフトウェア部門とハードウェア部門に分かれ、普段は各々が独自の研究を進めていますが、時に協力して楽しく活動しています。そんなRAPも活動が停滞していた時期がありました。しかし、せっかく自分達が作った同好会が、何も残さずに消えてしまうのはもったいないと感じ、一大奮起しました。ちょうどそうした時期に同じ考えを持ち、活動に参加してくれた仲間が身近にいたことは幸運でした。

活動再開後、昨年秋のオープンキャンパスで模擬実験を企画し、その時のアイデアを練り直して新潟産業大賞2005へ応募

しました。作品名は「LED工作キット」です。これは、初心者でも光のイルミネーションが手軽に製作できるというコンセプトで、回路基板とソフトウェアを独自に開発しました。新潟で開催された審査プレゼンテーションでは、作品を実演しながら説明し、質疑応答もありました。プレゼンは初めての経験でしたので、価格や子供の教育に使えるかなど審査員の鋭い質問に答える事は、簡単ではありませんでした。自分の考えを伝える事の難しさを痛感した大会でしたが、結果としては奨励賞を頂くことが出来ました。この作品の使い易さや機能性における工夫、そして自分達でゼロから作ったというオリジナルな点が評価され、賞につながったのだと思います。



新潟産業大賞では、回路やソフトウェアといった部員の得意分野を活かして一つの作品を作り上げ、賞を頂きました。こういった協力する事や他人に認められるといった喜びは、後輩達にうまく伝えなければと思っています。

哈爾濱(ハルビン)理工大学と学術交流に関する協定に調印

昨年11月22日(火)、本学と友好関係にある中国・哈爾濱理工大学の学術交流団(団長:魏新芳副校長)5名が本学を訪れました。午前中には、学術交流懇談会が行われ、学術交流に関する協定書に調印しました。午後からは、各学科の代表的な研究室や学内の施設、設備を見学し、次いで『技術交流公開シンポジウム』～交流から協調へ～が行われ、両大学のパネリストが自身の研究内容を紹介し、共同研究を呼びかけました。

また、学術交流の一環として、今年の10月から哈爾濱理工大学の学生を3年次編入学生として受け入れることになりました。

[関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2005/20051122_01.html]



丹野常務理事(前学長)が瑞宝中綬章を受章



昨年11月3日(木)付けで発表された平成17年度秋の叙勲において、丹野頼元常務理事(前学長)が永年に亘る教育に貢献された功績により叙勲されました。

この受章は本学にとっても誠に慶賀なことであり、心よりお祝い申し上げます。

〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2005/20051107_02.html〕

〔略歴〕

昭和 27年 東北大学工学部 卒業
昭和 41年 信州大学 教授 工学部
平成 元年 信州大学工学部長 (併任)
平成 元年 信州大学大学院工学研究科長 (併任)
平成 6年 信州大学名誉教授
平成 7年 新潟工科大学 教授 工学部
平成 11年 新潟工科大学名誉教授
平成 12年 新潟工科大学 副学長
平成 13年 新潟工科大学長
平成 13年 学校法人新潟工科大学 常務理事
(現在に至る)

佐伯教授と寺島助教授が日本機械学会より表彰



機械制御システム工学科の佐伯暢人教授が、日本機械学会北陸信越支部支部賞 優秀講演賞を受賞しました。演題は「廃電線の振動選別」でした。



機械制御システム工学科の寺島正二郎助教授が、日本機械学会北陸信越支部支部賞 優秀講演賞を受賞しました。演題は「振動吸収機能を有する車椅子用キャスターの開発―第2報―」でした。

竹園助教授と小野寺助教授の共著論文が1位にランク

物質生物システム工学科の竹園恵助教授と小野寺正幸助教授の共著論文が、Bioprocess and Biosystems Engineering誌(欧州の学術雑誌)において、最近最もアクセスのあった論文(Most viewed articles)の1位にランクされました(5/2現在)。

論文名

Improvement of foam breaking and oxygen-transfer performance in a stirred-tank fermenter

退職教員のお知らせ



平成18年3月31日(金)付けで、物質生物システム工学科の戸田 清教授が定年退職されました。戸田教授は、平成8年に本学の教授に就任し、10年の間、本学の発展にご尽力していただきました。

〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20060403_01.html〕

平成18年度公開講座の日程決定

平成18年度の公開講座の日程が下記のとおり決定しました。

- ★技術講座・実験編(建築系)「建物の強さと風環境を学ぶ」
6月1日(木)～6月22日(木)(全4回)
- ★教養講座「アメリカ文学・散歩道 ～時代を生きた女たち～」
6月13日(火)～7月18日(火)(全5回)
- ★技術講座・実験編(情報系)「パソコンを作りあげよう」
8月22日(火)～9月1日(金)(全5回)
- ★技術講座・講義編「健やかなくらしのために」
―新潟県立看護大学との提携プログラム―
9月21日(木)～10月26日(木)(全6回)



〔関連URL http://www.niit.ac.jp/kouza/kouza_index.html〕

新潟工科大学・工科大祭実行委員会からのお知らせ

6月3日(土)に工科大祭が行われます。私達工科大祭実行委員会も、迫る本番に向け、着々と準備を進めています。パンフレットの作成、宣伝、先生達による男の料理『カレーなる料理ショー』や、今人気のお笑い芸人『だいたひかる』、『ライセンス』によるお笑いライブなど、各種イベントの企画・運営の仕事に追われながらスタッフ一同が一丸となり、無事成功するよう努力しています。

また今、新入会員を募集しています!!あなたの力を貸してください!!私達と一緒に工科大祭を盛り上げませんか?部室はいつも明るく楽しい空気で、ラウンジ脇のクラブ室Eで放課後活動を行っています。興味のある方は是非一度部室へ見に来てください。

最後に6月2日(金)と3日(土)にスポーツ大会も行います。たくさんのご来場をお待ちしています。



第11回 工科大祭のご案内

6月3日(土)

●時間/10:00~15:30

だいたひかる、ライセンスによるお笑いライブ、カレーなる料理ショー、ビンゴ大会、軽音楽部ライブ、模擬店多数出店、青少年のための科学の祭典も同時開催。

オープンキャンパスのご案内

第1回 **7月22日(土)**

●時間/11:30~15:30

大学・学科紹介、模擬実験体験、入試ガイダンス、学食無料開放

●送迎バス/第1回 新潟、長岡、直江津、柏崎、高崎、長野
第2回 新潟、長岡、直江津、柏崎

第2回 **9月30日(土)**

●参加申し込み方法/電話・FAX・ハガキ・メール等により2日前までにお申し込みください。

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地 入試広報課

☎:0120-8188-40 FAX:0257-22-8226

E-mail:nyuushi@adm.niit.ac.jp URL:http://www.niit.ac.jp

AO入試と特待生選抜を実施します

平成19年度入試からAO入試と初年度の前期授業料(440,000円)を免除する特待生選抜を実施します。詳細については、下記までお問い合わせください。

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地 入試広報課

☎:0120-8188-40 FAX:0257-22-8226 E-mail:nyuushi@adm.niit.ac.jp

編集後記

よりタイムリーな話題提供を!というご期待に応えるべく、「NIIT広報」は年間3回の発行を目指すこととなりました。5月号は「新入学おめでとう」号です。新入生の皆さん、これから4年間のご活躍を大いに期待しています!そして!ご活躍の様子は遠慮なく「NIIT広報」担当宛にお聞かせくださいね。片っ端から記事にします。(A.I.)

発行

新潟工科大学広報誌 第9号
平成18年5月20日
新潟工科大学広報委員会

新潟工科大学

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地
TEL.0257-22-8111 (代表)
FAX.0257-22-8112
E-mail:soumu@adm.niit.ac.jp
URL:http://www.niit.ac.jp